

令和7年度

事業報告書

今帰仁村社会福祉協議会

目次

1. 法人運営事業	2
(1)理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催	2
(2)今帰仁村社協人材育成事業	4
(3)研修会の実施	4
2. 地域ふれあいサポート事業	5
3. 共同募金配分金事業(社協会費・赤い羽根募金配分金)	7
(1)老人福祉活動事業	7
(2)障がい児・者活動事業	8
(3)児童・青少年福祉活動事業	9
(4)母子・父子福祉活動事業	10
(5)福祉育成・援助活動事業	11
(6)ボランティア活動事業	13
(7)歳末たすけあい配分事業	13
4. 生活福祉資金貸付受託事業	14
5. 介護予防日常生活総合支援事業(村受託事業)	15
6. 社会的孤立対策(なきじん結ネットワーク事業)	16
7. 日常生活自立支援事業	21
8. 生活支援体制整備事業	22
9. 赤い羽根共同募金	24
10. 介護保険事業	25
○通所介護(デイサービス)事業	25
○訪問介護(ヘルパー)事業	28
○居宅介護支援事業	30
11. 障がい福祉サービス事業	33
○児童デイサービス(スイミー)事業	33
○障がい者ホームヘルプ事業	35
○障がい者相談支援事業所アイリス	37
○ソーシャルサポートおとばの杜	39
12. 団体事務	44
○今帰仁村民生委員児童委員協議会	44
○今帰仁村老人クラブ連合会	46

1. 法人運営事業

法人の円滑な事業執行と経営並びに地域の福祉ニーズに応じていくため社協機能の充実強化を図る

(1)理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会の開催

【理事会】:5回開催

期日	場所	出席数	議題・報告
第1回 令和7年 5月28日	今帰仁村社協 (2階会議室)	理事9名 監事2名	第1号議案 令和6年度事業報告について 第2号議案 令和6年度決算について(監事より監査報告) 第3号議案 令和7年度資金収支一次補正予算(案)について 第4号議案 第24期・役員(理事・監事)候補者の推薦(案)について 第5号議案 第22期評議員候補者の推薦(案)について 第6号議案 評議員選任・解任委員の補充選任(案)について 第7号議案 定款の一部改正(案)について 第8号議案 正規職員就業規則の一部改正(案)について 第9号議案 事業職員等就業規則の一部改正(案)について 第10号議案 第1回評議員選任解任委員会の開催について 第11号議案 令和7年度第1回(定時)評議員会の開催日時及び、場所並びに議事に付すべき事項について
第2回 令和7年 6月25日	今帰仁村社協 (2階会議室)	理事6名 監事2名	第1号議案 第24期会長・副会長・常務理事の選定について
第3回 令和7年 9月19日	今帰仁村社協 (2階会議室)	理事6名 監事2名	第1号議案 人件費積立金の取り崩し(案)について 第2号議案 令和7年度資金収支二次補正予算(案)について 第3号議案 第24期・理事補充候補者の推薦(案)について 第4号議案 正規職員就業規則の全部改正(案)について 第5号議案 正規職員給与規程の一部改正(案)について 第6号議案 事業職員等給与規程の一部改正(案)について 第7号議案 事業職員等就業規則の一部改正(案)について 第8号議案 職員等育児・介護休業規程の全部改正(案)について 第9号議案 社会福祉基金設置及び管理運営費規程の一部改正(案)について 第10号議案 旅費規程の一部改正(案)について 第11号議案 令和7年度第2回評議員会の開催日時及び、場所並びに議事に付すべき事項について 報告事項 1.会長・常務理事の職務執行状況報告 2.監督官庁が実施した検査又は調査結果の報告

第4回 令和8年 2月26日	今帰仁村社協 (2階会議室)	理事8名 監事2名	<p>第1号議案 令和7年度資金収支三次補正予算(案)について</p> <p>第2号議案 令和8年度事業計画(案)について</p> <p>第3号議案 令和8年度資金収支予算(案)について</p> <p>第4号議案 今帰仁村社会福祉協議会旅費規程(案)について</p> <p>第5号議案 評議委員選任・解任委員の補充選任(案)について</p> <p>第6号議案 処務規程の一部改正(案)について</p> <p>第7号議案 正規・事業職員等給与規程の一部改正(案)について</p> <p>第8号議案 事務局規程の一部改正(案)について</p> <p>第9号議案 第三者委員の選任(案)について</p> <p>第10号議案 役員等の報酬等に関する規程の一部改正(案)について</p> <p>第11号議案 定款細則一部改正(案)について</p> <p>第12号議案 令和7年度第3回評議員会の開催日時及び、場所並びに議事に付すべき事項について</p> <p>報告事項</p> <p>1.会長・常務理事の職務執行状況報告</p>
第5回	—	—	<p>理事会議案の決議の省略について(提案)</p> <p>第1号議案 令和7年度資金収支四次補正予算(案)について</p> <p>第2号議案 令和8年度資金収支予算(案)について</p>

【評議員会】:3回開催

期日	場所	出席数	議題・報告
第1回 令和7年 6月25日	今帰仁村社協 (2階会議室)	評議員15名 監事1名	<p>報告事項</p> <p>第1号 第22期・評議員の選任について(委嘱状交付)</p> <p>第1号議案 令和6年度事業報告について</p> <p>第2号議案 令和6年度決算について(監事より監査報告)</p> <p>第3号議案 令和7年度資金収支一次補正予算(案)について</p> <p>第4号議案 第24期・役員(理事・監事)候補者の選任について</p> <p>第5号議案 定款の一部改正(案)について</p>
第2回 令和7年 10月7日	今帰仁村社協 (2階会議室)	評議員10名	<p>第1号議案 人件費積立金の取り崩し(案)について</p> <p>第2号議案 令和7年度資金収支二次補正予算(案)について</p> <p>第3号議案 第24期・理事補充選任について</p>
第3回 令和8年 3月24日	今帰仁村社協 (2階会議室)	評議員10名	<p>報告事項</p> <p>第三者委員へ委嘱状交付</p> <p>第1号議案 令和7年度資金収支三次補正予算(案)について</p> <p>第2号議案 令和8年度事業計画(案)について</p> <p>第3号議案 令和8年度資金収支予算(案)について</p>

【評議員選任・解任委員会】:1回開催

期日	場所	出席数	議題・報告
第1回 令和7年 6月12日	今帰仁村社協 (2階会議室)	委員3名	第1号議案 第22期評議員の選任について

(2)今帰仁村社協人材育成事業

事業名	今帰仁村社協人材育成事業																
事業内容	<table border="0"><tr><td>1. 受講料助成金</td><td></td></tr><tr><td>・介護支援専門員研修課程Ⅱ受講料</td><td>1名</td></tr><tr><td>・サービス管理責任者更新研修受講料</td><td>2名</td></tr><tr><td>2. 研修参加費</td><td></td></tr><tr><td>・総務関連人材育成研修</td><td>・県共済会担当者研修</td></tr><tr><td>・認知症介護基礎研修</td><td>・化学物質管理者講習</td></tr><tr><td>・認知症キャラバンメイト養成研修</td><td>・安全運転管理者講習</td></tr><tr><td>・生活困窮等相談力向上セミナー</td><td></td></tr></table>	1. 受講料助成金		・介護支援専門員研修課程Ⅱ受講料	1名	・サービス管理責任者更新研修受講料	2名	2. 研修参加費		・総務関連人材育成研修	・県共済会担当者研修	・認知症介護基礎研修	・化学物質管理者講習	・認知症キャラバンメイト養成研修	・安全運転管理者講習	・生活困窮等相談力向上セミナー	
1. 受講料助成金																	
・介護支援専門員研修課程Ⅱ受講料	1名																
・サービス管理責任者更新研修受講料	2名																
2. 研修参加費																	
・総務関連人材育成研修	・県共済会担当者研修																
・認知症介護基礎研修	・化学物質管理者講習																
・認知症キャラバンメイト養成研修	・安全運転管理者講習																
・生活困窮等相談力向上セミナー																	

(3)研修会の実施

◎令和7年度今帰仁村社協・職員研修会

- ・令和8年3月18日(水) 村社協2階会議室にて
- ・講話:『同窓会で差をつけよう—最新の科学から老化を防ごう』
- ・講師:名桜大学 人間健康学部 高瀬幸一氏

2. 地域ふれあいサポート事業

太陽光売電収入を活用し、公益的な取組みとして村民の福祉向上を図る活動の実施

事業名	① さわやか地域生活さぽーと事業
目的	高齢者や障がい児・者の在宅での自立した生活を継続することや、その人らしくさわやかに地域生活が送れるように日常生活を支援していくことを目的とし実施する。
対象	村内に居住する単身世帯、高齢世帯及びこれに準ずる世帯並びに障がい児者の世帯で、心身の障がい及び疾病の理由により、日常生活を営むのに支援が必要な者。 *既存のサービス等の利用が困難な方。多制度・資源・サービスを優先利用とし、介護保険など既存の制度に該当される方や他の資源等が利用できる方はそちらを案内します。
事業内容	・家事、買い物（利用料：1時間500円） ・福祉車両の貸出し支援（燃料代実費）
成果・課題	・支援件数：0件・福祉車両の貸出し：13件 今年度は、家事・買い物支援の申請・相談は1件あったが、利用開始前にご本人が入院する事になり本事業へつながる事はなかった。しかし、入院前に、生活支援コーディネーターが訪問を行いながら、包括支援センターや村社協のケアマネージャー、家族と連携を取りながらサポートする事ができた。
次年度の目標	生活支援コーディネーターを中心に、制度の狭間で困っている方々の把握を行い、関係機関の連携の下に必要な支援へ繋げたい。

事業名	② 福祉バス運行事業
目的	今帰仁村社会福祉協議会及び村内の社会福祉団体の活動推進を図り、社会福祉向上に寄与することを目的とする。
対象 (実績)	(1) 村老人クラブ連合会 10件 (2) 村民生委員児童委員協議会 5件 (3) 村内福祉団体（身障協、母子会、心身障がい児（者）親の会） 1件 (4) 村役場、村議会、村教育委員会 5件 (5) 区長会及び各字公民館 13件 (6) 村内小中学校並びに北山高校 9件 (7) 社協 10件 (8) その他 18件
成果・課題	・運行件数合計(71件)※前年比53件増 (R6.4末より福祉バス使用不可)
事業費	【借用寄附金】127,000円【支出】4,910円(燃料代)

事業名	③ 生活用具貸与事業
目的	地域住民の皆様が安心安全に在宅生活を営めるよう、車いす等の生活・福祉用具の貸与を無料で行う。
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・備品などの貸与：12件（スカットボール、もちつきセット等） ・福祉用具の貸与：37件（車いす、シャワーチェア・キャリー、松葉杖、歩行器）

事業名	④ しゃきょーふれあいまつり
目的	まつりを通して地域住民同士はじめ、ボランティアや社協職員がふれあいを楽しみながら、参加する皆様に地域課題ならびに、社協が取り組む支援活動に関心を持っていただくこと、また誰もが安心して暮らせる地域づくりに向けて地域の方々が地域福祉活動へ参加するきっかけを創出することを目的に開催する。
期日	令和7年9月21日（日）午後1時30分～午後5時
場所	今帰仁村社会福祉会館内
対象	今帰仁村民
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・親子スイカ割り ・チョコバナナ体験 ・ゲームコーナー ・おとぼの杜バザー ・てい〜だ軽食販売 ・たまり場の小物販売 ・1人1品持ち寄り運動 ・ステージ（マグロの解体ショー、ウクレレサークル『てんとう虫』、たまんちゅ、いまじん太鼓）
成果・課題	<p>各事業所の職員が協力し合えた事で、準備から当日の運営まで行う事ができ、約500名の来場があった。『1人1品持ち寄り運動』では、約160件の寄贈が寄せられた。</p> <p>また、ボランティア団体でもある、「やんばる HotCafe」さんにて活動中の、『ウクレレサークル「てんとう虫」』さんに、オープニングステージを務めていただくなど、新たな取り組みの実施できた。</p>
次年度の目標	<p>パネルなどの展示にて各事業所や地域活動の取り組みの紹介、パンフレット設置のスペースを設け、地域の方々に社協事業に対する理解を深めていただき、地域福祉活動や事業の利用者を増やすことができるよう各事業担当で工夫を行う。</p> <p>また、来場者参加型のプログラムも増やしていきたい。</p>
諸経費	693,373円

3. 共同募金配分金事業(社協会費・赤い羽根募金配分金)

社協会費や赤い羽根募金を財源に、地域住民が安心して住み慣れた地域で生活が営めるよう、各種地域福祉活動や団体の支援などを行う

(1)老人福祉活動事業

高齢者が地域で安心して生活が送れるよう関係機関・団体等と協働し各種支援を行う

事業名	①老人会育成助成金の交付
目的	村老連が、活発に活動に取り組んでいただくこと並びに、地域福祉に寄与することを目的に助成する。
期日	令和7年7月25日
助成額	30,000円

事業名	②チャーピラサイ!運動
目的	村内で在宅に暮らす80歳以上の一人暮らし高齢者宅を訪問し、安否確認並びに地域と繋がり安心して暮らせるよう激励を目的とする。 また、区長や民生委員児童委員、なきじん見守り隊と連携・協働することで、地域の見守り・声かけ活動の推進を図る。
協力	村区長会、村民生委員児童委員協議会、なきじん見守り隊（訪問活動等）
期日	令和7年7月1日（火）～7月31日（木）
場所	今帰仁村内
対象	村内に居住する80歳以上の独居世帯高齢者
事業内容	生活支援コーディネーターが、区長、民生委員児童委員、なきじん見守り隊等と連携して対象世帯を訪問し、安否確認並びに粗品の進呈を行う。
成果・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・お会いできた方 : 189名 ・お会いできなかつた方 : 6名 ・お会いできず安否不明 : 6名 ・施設入所・入院中の方 : 193名 ・転居している方 : 16名 ・他界された方 : 6名 ・世帯分離で独居の為、対象外となった方 : 76名 <p>民生児童委員をはじめ、字の見守り隊、区長に協力いただき、安否確認や粗品の進呈、地域資源や詐欺被害の注意喚起の情報提供を実施する事ができた。</p>
次年度の目標	事業を通して把握した、地域との繋がりが希薄な方については、訪問や見守りを継続し、地域で支え合う体制の強化を推進していきたい。
諸経費	251,206円

(2)障がい児・者活動事業

地域で自立した生活が送れるよう、当事者(団体)との各種活動や支援活動に取り組む

事業名	①障がい者団体育成助成金の交付
目的	障がい児・者団体が活発に活動に取り組んでいただくこと並びに地域福祉に寄与することを目的に助成する。
期日	令和7年7月25日
対象	・今帰仁村身体障害者福祉協会 ・今帰仁村心身障がい児者親の会 ・手話サークル耳の輪なきじん ・なきじん耳マーク普及会
諸経費	120,000円 (各団体へ3万円を助成)

事業名	②ちゃ〜がんじゅ〜ピクニック事業
目的	社会見学の移動や介助員の確保などを行い、会員の活動をサポートする。
期日	令和7年11月27日
場所	首里城、南風原文化センター
対象	今帰仁村身体障害者福祉協会会員
事業内容	村身障協の社会見学が円滑に行われるようサポートする
成果・課題	マイクロバスの貸出や事業担当職員がドライバーを担い、現地での会員の介助で活動を支援することができた。
次年度の目標	次年度も身障協と連携を取り、活動をサポートしていきたい。
諸経費	6,191円

事業名	③新春ふれあいもちつき大会
目的	地域の方々やボランティア等の福祉関係者がふれあい、相互の親睦を図る事で、社協活動や地域福祉に対しての理解を深めていただく。
ボランティア	・ぜんざい作り、もちつき補助：今帰仁うりずんの会、今帰仁木踊会 ・もちの味付け配布：北山高校ボランティア部、今帰仁村ジェリアーダー
期日・場所	令和8年1月17日、村社協中庭にて
対象	今帰仁村民
事業内容	もちつき体験・試食、ステージショー、おとぼの杜バザー
成果・課題	●北山高校ボランティア部も加わり、計22名の協力があった。「1品持ち寄り運動」受付ブースには、個人・団体様より91件の寄贈があり、フードバンク活動の取り組みの認知が広がっていると感じた。 ●今年度から、パワーテントを設置したことにより、雨天時の心配も無く開催する事が出来た。
次年度の目標	多くの方々に社協について認知していただく為、社協の資料やチラシを設置しPRを行う。
諸経費	245,028円

(3)児童・青少年福祉活動事業

子ども達の健やかな成長を祈念し、地域でのふれ合いや各種激励事業を実施する

事業名	①夏休み親子ふれあい教室
目的	親子で協力すること並びに、子育て家庭への支援活動へ繋げる。
期日	令和7年7月26日(土)午後2時30～午後4時30
場所	村社協 2階 会議室
対象	村内の小学生(保護者同席参加)、参加費:一世帯500円
事業内容	『パステルアート講座』(講師:酒井 麻里 氏<プラスアート>)
成果・課題	今回は、前年度と比べ参加数は減だったが、少規模での開催だったため、参加者同士の交流も見られるなど、有意義な時間となった。
次年度の目標	次年度も、親子や参加者同士の交流が持てるように計画する。
諸経費	28,756円

事業名	②赤い羽根文庫の贈呈事業
目的	募金の使途、助け合いの必要性を理解してもらう事を目的に実施する。
期日	令和7年10月～11月
場所	各学校、保育園、こども園にて贈呈
対象	村内の保育園、小学校、中学校、高等学校(輪番制) (保育園:2万円/1か所につき、小中高校:4万円/1か所につき)
事業内容	対象校が選定した図書を購入し、各校にて贈呈を行う。
成果・課題	兼次小学校、今帰仁小学校、あめそこ保育園へ贈呈を行った。
次年度の目標	対象校と連携しながら児童・生徒の健全育成に寄与する。
諸経費	99,500円

事業名	③しゃきょー わくわく♪クリスマスパーティー
目的	親子のふれあいをはじめ、参加者が交流を楽しむこと並びに、地域の子どもの健やかな成長を願い、子育て家庭支援の一環として開催する。
共催	今帰仁村母子寡婦福祉会
協力	ウクレレサークルてんとう虫さん(オープニング演奏)、クリスさん(サンタ役)、高田真奈美さん(通訳)、相原一枝さん(裏方:サンタ衣装準備等)
期日	令和7年12月20日(土)午後2時～午後3時30分
場所	今帰仁村コミュニティセンター 2階ホール
対象	村内の子供達(1歳児～6年生)と保護者、参加費:一世帯500円
事業内容	ステージ鑑賞や抽選会、サンタとのふれあい等楽しい時間を過ごす。
成果・課題	日頃より本会と関わりのある事業所様から多くの景品の寄贈があり、景品を貰った参加者も喜んでい様子だった。また、ボランティアの皆さんの協力もあり、終始スムーズな運営を行う事ができた。
次年度の目標	村コミュニティセンターの使用が難しい為、集合型から形を変え、村内の子どもと村内の各高齢者施設が関われるような企画の検討を行う。
諸経費	120,814円

事業名	④ピカピカの1年生激励会
目的	新たな生活を送る児童の門出を祝い、健やかな成長を祈念することを目的に開催する。
期日	令和8年3月9日(火)
対象	小学校または特別支援学校へ入学する村内のこども達
事業内容	村内の保育園を訪問し激励会を行う。
成果・課題	対象児はじめ、他の園児たちにも楽しんでもらうことができた。
次年度の目標	園児の保護者へも、社協の取り組みについて、更に理解を深めていただく機会としたい。
諸経費	95,569円

事業名	⑤新中学一年生入学応援助成事業
目的	村内の準要保護世帯を対象に、入学応援として助成を行い、本事業を通じて児童の健やかな成長を祈念するとともに、社協活動の理解を広げ、今後の支援活動へ繋げることを目的に実施
協力	今帰仁村教育委員会(準要保護世帯へ事業案内チラシ送付)
期日	令和8年3月17日(火)～20日(金)の期間に助成金を交付。
場所	対象者の保護者に社協へ来所いただき、応援金の受渡しを行う。
対象	準要保護世帯で令和8年4月に新中学一年生となる児童
事業内容	村教育委員会に協力いただき、対象世帯へ事業案内チラシを送付。助成申請のあった世帯へ対象児童一人当たり1万円の応援助成金を交付する。
成果・課題	教育委員会のご協力もあり、14名の対象者へお渡しができた。
次年度の目標	次年度も村教育委員会に協力いただき、支援対象世帯へ案内を行う。
諸経費	141,650円

(4)母子・父子福祉活動事業

母子父子家庭との関わりや、母子寡婦福祉会、ゆいはあと北部等の関係機関との連携を図りながら子育て家庭の支援を行う

事業名	母子寡婦福祉協会育成助成金の交付
目的	村母連が活発に活動に取り組んでいただくこと並びに地域福祉に寄与することを目的に助成する。
期日	令和7年7月25日
助成額	30,000円

- 協力：『母と子の楽しい運動会』への参加(会長、嘉陽)

(5)福祉育成・援助活動事業

地域づくり支援や、住民への福祉教育を通して地域福祉の推進を図る

事業名	①令和7年度 今帰仁村社協の主な事業予定表の発行
目的	地域住民に社協活動について理解していただくことを目的に発行する。
期日	令和7年4月4日
対象	村内の各世帯へ配布
事業内容	社協の定例及び、月毎の取り組みについてお知らせする。
成果・課題	社協活動や社協会費の使途について理解を深めていただけた。
次年度の目標	地域の皆様に社協の取り組みに理解を深めていただくよう発行する。
諸経費	114,950円

事業名	②社協だより「太陽」の発行
目的	地域の方々に社協の活動を理解していただくことを目的に発行する。
発行	毎月
対象	村内の各世帯へ配布
事業内容	住民に向け、社協活動や地域の福祉活動についてお知らせする。
成果・課題	社協の各種事業や活動をはじめ、老人クラブ、民生児童委員、また地域活動に励む住民や団体等の紹介を行った。
次年度の目標	『社協って何しているところ?』との言葉を、地域からまだまだいただく為、区民の皆様が、更に興味・関心を持っていただけるよう、各字や地域の取り組みを伝える頻度を増やせるよう努める。
諸経費	617,760円

事業名	③地域交流助成事業
目的	地域住民が交流を通して、相互の関係構築をはじめ、区民同士での見守り・声掛け・助け合いの意識を醸成し『誰もが住みなれた地域で安心して生きがいを持ち、生活できる福祉のまちづくり』を応援する事を目的に実施。
期日	令和7年5月16日
対象	4字/年へ助成 ※令和7年度は平敷、越地、呉我山、湧川へ助成
事業内容	助成金（1字あたり5万円）を交付。
成果・課題	平敷区：平敷敬老会に活用 越地区：旧盆エイサーまつり、農業体験（じゃがいも植付）新年会に活用 呉我山区：繁栄祈願祭、区民レクレーションに活用 湧川区：新年会に活用
次年度の目標	次年度対象：謝名区、仲宗根区、玉城区
諸経費	200,000円

事業名	④災害見舞金の支給
目的	暴風、豪雨、火災等により精神的、身体的に著しい被害を受けた村民に対し、災害見舞金の支給を行うことで、災害により被害を受けた村民の福祉及び生活援助に資することを目的とする。
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・弔慰金は、災害により死亡した者(その者の故意又は、重大な過失によって死亡した者を除く)の遺族に対して支給する。 ・見舞金は、災害により被害を受けた世帯に対し支給するものとする。 ・災害による住家の被害は、全壊・全焼若しくは半壊・半焼等世帯とする。 ・水害による住家の流失、又は床上浸水被害を受けた世帯とする。
諸経費	0円(令和7年度は該当無し)

事業名	⑤福祉団体助成金交付
目的	民児協と青年会が、活発に活動に取り組んでいただくこと並びに地域福祉に寄与することを目的に助成を行う。
期日	令和7年7月25日
対象	今帰仁村民生児童委員協議会(20万円)、村青年団協議会(3万円)
諸経費	200,000円 ※村青年団協議会は申請無し

事業名	⑥福祉教育
目的	福祉が身近なものであるということを感じてもらうことをはじめ、「誰もが安心して暮らせる今帰仁村」の大切な一員であることを認識し、互いの違いを認め合いながら、「支え合って生きていく地域づくり」に向けて行動することを目的に実施。
対象	村内の小・中・高校
実施期日	今帰仁小学校 5年生(35名) 令和7年11月28日(金)
内容	<p>①『福祉とは?福祉・社協のお仕事について』 村社協 石川 秀人</p> <p>②『生い立ちからこれまでの生活・経歴、希輝々の仕事について』 自立支援センター希輝々 松田 吹雪</p> <p>③『車いすに乗って、新校舎のバリアフリー・ユニバーサルデザインを探そう』</p>
成果・課題	『福祉とは?福祉の仕事とは?』の導入授業から、外部講師の松田氏による、「身体障がいの当事者による講話」を実施した事で、児童から多くの質問が飛び交い、当事者との交流も図れた機会となった。 また、車イス体験を通して、『新校舎のバリアフリー、ユニバーサルデザイン探し』や、講話・交流・体験を通して、福祉や障がいについて伝えられる事ができた。
次年度の目標	車いす体験以外で、地域福祉の観点から民生児童委員や字の見守り隊とコラボし、地域で活動されている方々の役割などについて伝えながら、生徒児童自身の立場で何ができるのかを考え、行動へ移すことができるよう共に学んでいきたい。
諸経費	8,000円(謝金)

(6) ボランティア活動事業

ボランティア活動、市民活動を推進し、地域の福祉力向上を図る

事業名	①ボランティア団体育成助成金の交付
目的	団体が活発に活動に取り組んでいただくこと並びに地域福祉に寄与することを目的に助成を行う。
期日	令和7年7月25日
対象	なきじん木踊会、今帰仁うりずんの会、子どもに寄り添う大人の会「とまり木」
諸経費	90,000円（各団体3万円）

事業名	②ボランティア活動推進校指定事業
目的	村内の小中高校を対象に、ボランティア活動や体験学習を通して自発性を育て、地域活動への参加推進を図る福祉教育の一環として実施する。
期日	令和7年7月16日
成果・課題	兼次小：学校きれいにし隊、兼ハルスター感謝祭、地域ボランティア清掃等 今帰仁小：校舎・馬場・登下校道のクリーン活動 今帰仁中：地域環境整備作業（村乙羽岳森林公園にて、参加生徒94名） 正門から校舎にかけての歩道（村道）の花壇整備 北山高校：高文連主催「肝清祭」ボランティア活動への参加など
次年度の目標	全対象校に活用していただけるよう、事業案内後も活用事例などの説明を行ないながら、申請のサポートを行っていききたい。
諸経費	80,000円（1校あたり2万円の助成）※天底小学校の申請は無し

(7) 歳末たすけあい配分事業

生活困窮世帯の支援を目的に、募金活動や世帯の実態把握、支援活動に取り組む

事業名	歳末たすけあい運動
目的	新たな年を迎える時期に、経済的支援を必要とする方々の実態把握を行い、実情にあった支援活動を展開することを目的に実施する。
協力	村民の皆様(募金)、村区長会(募金運動)、村民児協(調査、配布)
期日	募金活動：10月～11月、対象者調査：11月、支援金配布：12月
対象	様々な事情により生活が困窮している世帯 ※生活保護世帯も含む
事業内容	・ 区長会の協力を得て、戸別募金活動の実施。 ・ 民生児童委員や区長の協力を得て、支援対象者調査、支援金(1世帯につき3千円)の配布を行なっていただく。
成果・課題	地域の皆様に100円/戸のご支援をいただき、区長や民生児童委員の協力を得て困窮世帯等へ支援金を届けることができた。 課題としては、支援金の配布期間に、対象者が入院しており年末年始で渡すことが難しいケースもあった。 ※支援数：95世帯（162人）
次年度の目標	引き続き、区長や民生委員児童委員の協力を得ながら、村内の実情に合わせた柔軟な支援ができるよう検討していききたい。
諸経費	285,000円

4. 生活福祉資金貸付事業(県社協受託事業)

事業名	生活福祉資金貸付事業
受託費	11,706,406円 (事務費：生活福祉資金、つなぎ資金、特例貸付、債権管理等)
目的	低所得世帯や高齢者世帯、障害者世帯などで生活に一時的に困窮している世帯に対し、必要な費用の一部を貸し付けるとともに、民生委員や社協による相談支援を行うことによって社会参加の促進を図る。
対象	ア)低所得世帯:必要な支援を受けることで自立できると認められる世帯であり、必要な資金を他から借り受けることが困難な世帯(市町村民税非課税程度)。 イ)障害者世帯:身体、療育、精神障害者手帳の交付を受けた者(障害者総合支援法によるサービス利用者等これと同程度と認められる者を含む)の属する世帯。 ウ)高齢者世帯:65歳以上の高齢者の属する世帯。
相談 貸付件数	<p>(1)総合支援資金(相談のべ28件 貸付:0件) 失業者等、日常生活全般に困難を抱えており、生活の立て直しのために継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金を必要とし、貸付を受けることにより自立が見込まれる世帯に貸付を行う。</p> <p>(2)福祉資金(緊急小口資金) (*相談のべ53件 貸付:2件) 緊急かつ一時的に生計維持が困難となった際に、必要な少額費用の貸付を行う。 福祉資金(福祉費・生活復興支援) (*相談のべ35件 貸付:0件) 日常生活を送る上で、又は自立生活に資するため一時的に必要と見込まれる費用の貸付。</p> <p>(3)教育支援資金(修学費・支度費) (*相談のべ146件 貸付:2件) 低所得世帯に属する者が、高校・大学・専門学校等の修学に際し必要な経費「教育支援費」と入学の際に必要な「就学支度費」の貸付。</p> <p>(4)不動産担保型 生活資金 (*相談8件 貸付:0件) お住まいの居住用不動産を担保に、将来にわたり住居に住み続けるための生活資金の貸付。</p> <p>(5)臨時特例つなぎ資金 (*相談のべ0件 貸付:0件) 住居のない離職者で、公的給付制度または公的貸付制度の申請を受理されている者、かつ給付が始まるまでの生活に困窮している方への貸付。</p>

5. 介護予防日常生活総合支援事業(村受託事業)

事業名	今帰仁村高齢者介護予防事業(社協生き生き教室)
目的	高齢者に対し、運動指導を実施する事で、介護予防の普及啓発をはじめ、転倒やそれに起因する骨折等の予防を図る。また、利用者が集い活動することにより、生きがいを持ち、住み慣れた地域で元気で暮らし続けることを目的とする。
期 日	毎週(月)(木)(金) 午前10時～午後3時 ※利用者は1回/週の利用
休業日	●12月29日～1月3日、災害時等 ●村の健診(偶数月(木)、奇数月及び12月、2月(土))による休業
場 所	旧：今帰仁保育所(2歳児室)
受託費	6,231,000円
対 象	①村内に居住する65歳以上の高齢者で、自立～要支援2までの方 ②木曜日の利用者は、①の要件かつ自立歩行ができる方(買い物プログラムのため) ※自立歩行が困難になった場合は対象外 ※安全にサービス提供を行うため、当事業利用期間中に、 <u>要介護1以上の認定を受けた場合は対象外</u> となります。
事業内容	・バイタルチェック(血圧・体温など) ・食事 ・講師指導の「自宅で行える介護予防運動」 ・体力測定 ・趣味、レクリエーション活動 ・買い物支援(木曜日のみ)
利用料	利用料無料(食事代:450円(R7年12月まで400円))
利用者状況	実施回数累計147回、利用のべ人数:1613人 利用者人数(登録数)・・・42名(令和8年3月31日現在)
効果・課題	今年度から、一般介護予防事業となり、対象者を65歳以上の村内在住すべての高齢者へ広げられたことで、介護予防の普及及び健康維持の機会提供を図ることができた。 また、買い物支援プログラムの導入により、移動手段が無く「買い物」に課題を抱える高齢者に対し、ニーズに応えた支援の実施ができた。 身体面では、運動指導士による運動プログラムの実施により、利用者の心身機能低下の抑制が図れた。 課題として、利用希望者の問い合わせが多く、職員体制や送迎対応の制約から定員制を設けている。
次年度の目標	利用待機者へ、サービス提供が図れるよう仕組みの検討。

6. 社会的孤立対策(なきじん結ネットワーク事業)

誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、住民はじめ、民間事業者、関係機関などがそれぞれの役割を担い、連携・協働できるネットワークを構築し、地域ぐるみで課題に向き合い、解決を図る取り組みを展開する

事業名	なきじん結ネットワーク事業														
目的	<p>少子高齢化や核家族化の進行、コロナの流行等で、住民同士の支え合いの希薄化が進む中、地域ではひきこもりや孤立死、虐待など複雑かつ多様な課題が顕在化している。</p> <p>これらの課題に対応し、公的な社会資源の活用をしながら、地域住民はじめ、民間事業者、関係機関等がそれぞれの役割を担い、『誰もが安心して暮らせる地域づくり』に向け、連携・協働できるネットワークを構築し、地域ぐるみで課題に向き合い、お互いを気にかけて、助け合う（ゆいまーる）地域支援体制の展開を目的とする。</p>														
事業費	【支出】 1,499,463円														
対象	今帰仁村の皆様														
事業内容	<p>(1)協議体(なきじん結ネットワーク連絡会)の設置</p> <p>地域ぐるみで課題に向き合い、解決を図るネットワークの形成を目指し、各構成団体の強みを生かした社会資源開発、課題解決に向けた具体的方策の検討を行う。</p> <p>なきじん結ネットワーク連絡会員</p> <table border="0"> <tr> <td>1. 村身体障害者福祉協会</td> <td>8. 村青年会</td> </tr> <tr> <td>2. 村民児協</td> <td>9. 村区長会</td> </tr> <tr> <td>3. 村母子会</td> <td>10. 子どもに寄り添う大人の会とまり木</td> </tr> <tr> <td>4. 村心身障がい児者親の会</td> <td>11. なきじん木踊会</td> </tr> <tr> <td>5. 村老連</td> <td>12. 今帰仁うりずんの会</td> </tr> <tr> <td>6. 村役場健康づくり推進健課</td> <td>13. 村教育委員会</td> </tr> <tr> <td>7. 村地域包括支援センター</td> <td>14. 村社会福祉協議会</td> </tr> </table> <p>(2)住民主体の地域福祉活動の創出</p> <p>①見守り活動(なきじん見守り隊(ア)事業者、(イ)有志住民)設置について</p> <p>村内の事業者等の皆様へ、業務中に村民の生活に異変等の気づきがあった際は、社協や関係機関に連絡を行っていただくようお願いしている。</p> <p>また、住民主体のなきじん見守り隊の全字での設置に取り組んでいる。</p> <p>(ア)協力事業者のなきじん見守り隊：18か所</p> <p>今帰仁村民児協、北観タクシー三笠営業所、沖縄タイムス今帰仁販売店会、今帰仁郵便局、今帰仁村役場水道課、琉球新報今帰仁販売店会、崎浜電気商会、仲宗根電化商会、日本生命保険相互会社那覇支店、沖電名護支店、座間味プロパン、コープおきなわ、今帰仁診療所、ヤクルト北部営業所、今帰仁プロパン、農協今帰仁支店、座間味タイヤ、前吉鉄工所</p>	1. 村身体障害者福祉協会	8. 村青年会	2. 村民児協	9. 村区長会	3. 村母子会	10. 子どもに寄り添う大人の会とまり木	4. 村心身障がい児者親の会	11. なきじん木踊会	5. 村老連	12. 今帰仁うりずんの会	6. 村役場健康づくり推進健課	13. 村教育委員会	7. 村地域包括支援センター	14. 村社会福祉協議会
1. 村身体障害者福祉協会	8. 村青年会														
2. 村民児協	9. 村区長会														
3. 村母子会	10. 子どもに寄り添う大人の会とまり木														
4. 村心身障がい児者親の会	11. なきじん木踊会														
5. 村老連	12. 今帰仁うりずんの会														
6. 村役場健康づくり推進健課	13. 村教育委員会														
7. 村地域包括支援センター	14. 村社会福祉協議会														

(イ)有志住民のなきじん見守り隊： 8字

与那嶺区見守り隊、崎山区見守り隊、平敷区見守り隊、越地区見守り隊、謝名区見守り隊、呉我山区見守り隊、天底区見守り隊、勢理客区見守り隊



②居場所づくり活動設置について

住民が自主的に企画・運営し、住民相互の支え合いにより仲間づくりをはじめ、交流の場として社会的孤立感の解消、健康の維持向上等を幅広く図り、住み慣れた地域で安心して暮らせる居場所づくりを行う。

(ア)ミニデイサービス(各字公民館にて実施)

- | | |
|-----------------|-----------------|
| ①今泊区 (7回実施) | ⑤平敷区 (6回実施) |
| ②兼次区 (1 1回実施) | ⑥謝名区 (1 2回実施) |
| ③諸志区 (1 1回実施) | ⑦仲宗根区 (5回実施) |
| ④与那嶺区 (1 2回実施) | ⑧湧川区 (1 1回実施) |
| | ⑨古宇利区 (1 0回実施) |

事業内容



(3)ネットワーク機能の構築

①地域相談窓口「シマ～のなんでも相談会」設置について(毎月1回)

地域に暮らす一人一人の「社会的孤立」を防止すべく、各字の公民館を拠点に区長や書記、民生児童委員、社協職員が協働して、住民の小さな困りごとから拾い上げ、必要な支援に迅速に繋げることを目的に実施する。



(4)その他の活動

事業名	①小規模法人ネットワーク化事業(ちゅいしいじい事業)										
目的	<p>少子高齢化や核家族化の進行など、社会環境等の変化による地域の福祉ニーズの多様化を踏まえ、社会福祉法人等が自らの創意工夫に基づき、地域貢献事業を積極的に展開していくことが求められている。</p> <p>これらのニーズに対応した地域の福祉サービスの一層の充実が図られるよう、小規模法人ネットワークの構築・協働事業の実施等を推進することを目的とする。</p>										
実施主体	今帰仁村社会福祉協議会										
参画事業者	<table border="0"> <tr> <td>1. 社会福祉法人乙羽会</td> <td>6. (有) ほしくぼ</td> </tr> <tr> <td>2. 医療法人光風会</td> <td>7. 今帰仁村地域包括支援センター</td> </tr> <tr> <td>3. 社会福祉法人あめそこ保育園</td> <td>8. 社会福祉法人今帰仁村社協</td> </tr> <tr> <td>4. 社会福祉法人認定こども園まほろば保育園</td> <td></td> </tr> <tr> <td>5. HITOWA ケアサービス株式会社イリーゼ今帰仁</td> <td></td> </tr> </table>	1. 社会福祉法人乙羽会	6. (有) ほしくぼ	2. 医療法人光風会	7. 今帰仁村地域包括支援センター	3. 社会福祉法人あめそこ保育園	8. 社会福祉法人今帰仁村社協	4. 社会福祉法人認定こども園まほろば保育園		5. HITOWA ケアサービス株式会社イリーゼ今帰仁	
1. 社会福祉法人乙羽会	6. (有) ほしくぼ										
2. 医療法人光風会	7. 今帰仁村地域包括支援センター										
3. 社会福祉法人あめそこ保育園	8. 社会福祉法人今帰仁村社協										
4. 社会福祉法人認定こども園まほろば保育園											
5. HITOWA ケアサービス株式会社イリーゼ今帰仁											
事業内容	<p>(1)法人間連携プラットフォームにおける取組内容</p> <p>①第1回連絡会(令和7年4月25日(参加:4法人等))</p> <p>参画法人が主体となる、「法人連携型居場所づくり」の今後の在り方について検討会を実施。様々な、意見が上がる中、各法人から、「土曜日に本事業へ職員派遣する事は難しい」などの意見があった。</p> <p>参画法人内には、既に公益的な取組(イベントや勉強会等)を実施している事業所もあり、今後は各法人等へメーリングリストを活用しながら、イベント等の協力依頼を行う方針となった。</p> <p>②第2回連絡会(令和8年3月26日)</p> <p>今回は、参加者数が少なかった為、開催中止となる。</p> <p>※第2回連絡会にて、予定していた検討項目については、アンケート形式に変更し、各法人に回答していただく(R8年4月～5月頃予定)。</p> <p>(2)法人間連携の取り組み</p> <p>①法人間連携フードバンク事業</p> <p>参画法人が、「1人1品持ち寄り運動」に取り組み、生活困窮世帯への支援活動(フードバンク事業)で活用される、食料品等の確保を行った。</p> <p>②法人連型なんでも相談窓口</p> <p>参画法人各々が、利用者等から拾い上げた困り事を、法人間連携を図り、迅速に支援に繋げる。</p>										
効果・課題	今年度は、新事業の展開には至らなかったが、各法人等の強みを知る良い機会となった。										
次年度の目標	参画法人で共通する困りごと等があれば、その事例について勉強会を行い知識を深めていきたい。「法人間連携フードバンク事業」においては、引き続き、法人等の皆様へフードバンクの利用状況や重要性を説明し、協力いただけるよう声掛けを行っていく。										

事業名	②今帰仁村 小地域福祉活動「フードバンク事業」
目的	困窮世帯へ食料品等を提供しながら自立の援助支援を行う。
協力	地域住民をはじめ、事業所や企業の皆様（支援品の持ち寄り）
期日	通年
対象	生活困窮世帯（緊急に支援が必要な世帯）
事業内容	・緊急に支援が必要な生活困窮世帯へ、食料等を提供しながら、就労支援や生活保護等の公的支援への橋渡しを行う。
成果・課題	・利用件数：のべ134件 ・物品提供者数：① 83件：個人・団体(事業者・連携法人等)・社協職員 ②254件：社協行事（まつり163件、もちつき91件） 物価高騰等の影響で、生活困窮世帯等の利用件数が増加し、ヒヤリングを行いながら関係機関等に繋ぎ支援を行う事が出来た。 課題としては、物価高騰等の影響に伴い、寄贈者物品の減少と利用件数の増で在庫数が不足している。
次年度の目標	フードの受渡時に、他者からの視線が気になられる方もいた為、受渡時の場所など配慮を行いながら対応を図りたい。 また、村内企業(スーパー等)と連携を図り、新たな取り組みの検討。

事業名	③みんなでつくる居場所「だんらん」
目的	「地域の居場所づくり」の取組みを通し、孤食や貧困対策だけでなく、地域住民間・多世代交流の機会となる事を目的に開催する。
協力	村民生委員児童委員、仲宗根区老人クラブ ※配膳や参加者との交流
期日	毎月第4土曜日
場所	今帰仁村社協中庭、レストラン
対象	今帰仁村の皆様
事業内容	・カレーライス・サラダ等の食料を、先着30名に無料配布。 ・参加者で談話や軽スポーツ等で遊び、交流を図る。
参加者	のべ228名
効果・課題	今年度は、事業開始2年目という事もあり、参加者数の安定、新しい参加者も見られるなど、地域住民への認知も広がりつつある。
次年度の目標	引き続き、広報・周知活動も幅広く行ない、子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加できる場にしていきたい。

事業名	④みんなのたまり場(子ども・若者支援)
目的	子どもや若者のさまざまな相談・支援として関係機関と連携し、就職支援、自宅訪問(アウトリーチ)、本人と家族への相談支援を目的とする。
協力	仲吉真里さん(ボードゲーム等)、山本祐香(Happy more くくる)
場所	社協1階 みんなのたまり場(デイサービス隣の部屋)
対象	村内に住む、引きこもりの若者
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・月2回の活動(活動日以外はフリースペースとして利用可) (ボードゲーム、タロットカード占い、ワークショップ、野外活動等) <p>参加者の希望・必要に応じて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会参加に向けた就労支援(仕事関連の情報提供、職場見学、就労体験、パソコン指導・練習など) ・利用者宅への訪問や電話等で、本人や保護者から現状の聞き取り ・親の会へ参加(ひきこもりの子・成人のいる家族・支援者等) ・村内の中学校、教育相談室、とまり木の会(親の会)などと情報交換や連携を図り、気になる若者の把握など。 ・社協が行う行事への参加
利用者状況	5名
効果・課題	<p>新たな取組として今帰仁社協内の畑(おとぼの杜にある畑)を利用し“たまり場農業体験”の実施。利用者は、それぞれが好きな野菜を植えから収穫まで全工程を体験した。</p> <p>また、調理実習も行い、「自宅で出来る簡単料理」をテーマに“ヒラヤチー”や“餃子の皮ピザ”等を作って実食まで行ない、野菜の切り方等を通し、利用者の自立に向けた取組を行う事が出来た。</p> <p>その他には、「チャットGPTの活用方法について」仲吉さん指導の下、利用者が実際に、自分の気になる事などをチャットGPTを使用し調べる事が出来た。</p> <p>様々な活動を通して、自ら進んで地域活動への参加から、パートを始めるなど、就労に繋がった者や、今後について考え始める利用者もいたり、利用者それぞれが一歩前進している様子が見られ、本事業の必要性を強く感じた</p>
次年度の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・1人1人の自立の為に、できる事を焦らずサポートを行っていく。

7. 日常生活自立支援事業(県社協受託事業)

事業名	日常生活自立支援事業
委託費	1,197,000円(事業利用者数で変動)
目的	高齢や障害により、日常生活に不安のある方が地域で安心して生活が送れるよう、本人との契約に基づき、福祉サービスの利用援助を中心に、日常的な金銭管理や重要書類等の預かり・保管などの支援を通して、利用者の権利擁護を図ることを目的とする。
実施日	月曜日～金曜日 8:30～17:30
対象	<ul style="list-style-type: none"> ・判断能力が不十分な方(認知症高齢者、知的障害者、精神障害者等で、日常生活を営むのに必要なサービス利用のための情報の入手、理解、判断、意思表示を本人のみでは適切に行うことが困難な方) ・本事業の契約について判断し得る能力を有していると認められる方。
事業内容 ・ 実績	<p>①福祉サービス利用援助</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さまざまな福祉サービスの利用に関する情報の提供、相談 ・福祉サービスの利用における申し込み、契約の代行、代理 ・入所、入院している施設や病院のサービスや利用に関する相談 ・福祉サービスに関する苦情解決制度の利用手続きの支援 <p>②日常的な金銭管理サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの利用料金の支払い代行 ・病院への医療費の支払いの手続き ・年金や福祉手当の受領に必要な手続き ・税金や社会保険料、電気、ガス、水道など公共料金の支払い手続き ・日用品購入の代金支払いの手続き ・預金の出し入れ、預金の解約の手続き <p>③書類等預かりサービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年金証書、預貯金通帳、権利証、実印などの書類預かり <p>■利用者(R8年3月31日現在):11名(前年比:1名減) ■相談援助回数:のべ248回(前年比:4回増)</p>
成果・課題	<p>残高の減が続いていた利用者に対し、「生活保護制度」の案内を行ない、制度利用に繋がれた事で、利用者の将来に対する不安が軽減された。</p> <p>また、利用者との関わりを拒否する傾向が強かった家族に対して、担当職員が継続的にアプローチを行なった事で、職員と家族との関係性が構築され、家族が利用者に関わる機会も増え、利用者の施設入所にも繋がれる事ができた。</p> <p>課題としては、新たに負債が見つかったケースが2事例あり、対応方法について、行政の法律相談等の活用や、関係者・機関と連携を図り対応を行っている状況。</p>

8. 生活支援体制整備事業(村受託事業)

誰もが安心して暮らせる地域づくりに向け、住民はじめ民間事業者、関係機関等がそれぞれの役割を担い、連携・協働できるネットワークを構築し、地域ぐるみで課題に向き合い、解決を図る取り組みを展開する

事業名	生活支援体制整備事業
目的	日常生活上の支援が必要な高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持って在宅生活を継続していくために必要となる多様な主体による多様な生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築するため、支援ニーズとサービスのコーディネート機能を担い、サービスを提供する事業主体と連携して支援体制の整備・強化を図ることを目的とする。
委託費	8,000,000円
対象	今帰仁村の高齢者
事業内容	<p>(1)協議体の設置 *協議体は、(p.16)なきじん結ネットワーク連絡会と同様 第1層協議体の設置</p> <p>生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、多様なサービス提供主体との定期的な情報共有、連携強化の場、資源開発等を推進。</p> <p>○村内の福祉課題解決に向けた住民主体の取り組みについて企画・立案・方針策定等</p> <p>○地域防災・災害時避難に関する自助・共助の取り組み推進</p> <p>○行政からの情報提供や意見交換の促進</p> <p>◆令和7年度協議体連絡会 ～事業開始10年目、これまでの活動を振り返る～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日：令和7年8月8日（金）午後2時～午後4時 ・会場：今帰仁村コミュニティーセンター 2階ホール ・対象：なきじん結ネットワーク連絡会員 （区長、民生委員児童委員、なきじん見守り隊(有志住民・事業者)、ミニデイ世話人、行政(包括・水道検針員)、社協職員) ・内容：<u>説明①「介護保険の視点から見る、今帰仁村の状況」</u> 村包括：知念慎也 <u>説明②「なきじん結ネットワーク事業について」</u> 村社協：石川秀人 <u>グループワーク</u>：各字や所属団体等での、それぞれの取り組みの意見交換。
	

(2)生活支援コーディネーターの配置

日常生活圏域における関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら資源開発、関係者のネットワーク化、地域支援ニーズとサービス提供主体のマッチング等コーディネート業を実施することにより、地域における生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備にむけた取組みを推進。

◆第1(村全域)・3層(各字)コーディネーターを配置(5名)

生活支援・介護予防サービスの把握及び資源の創出（見守り隊、生活サポーター、通いの場づくり、介護予防出前講座等）。

*協議体は、(p.16)なきじん結社ネットワーク連絡会と同様

◆毎月定例ミーティング実施

毎月、生活支援コーディネーターミーティングを実施し、個々の相談内容の報告や困難事例等の解決法の検討、その他情報共有を行う。

(3)出前講座の開催

『住み慣れた地域で暮らすために』をテーマに、村や字の介護保険の状況に着目し、高齢化率や介護認定率の実態や、将来予想される変化の説明をはじめ、元気なうちから取り組む介護予防(運動・居場所)の重要性を伝え、住民主体で取り組める『居場所づくり』の必要性について紹介。

平敷公民館	R7年 11月 20日	呉我山公民館	R8年 2月 20日
与那嶺公民館	R7年 12月 25日	運天公民館	R8年 2月 26日
兼次公民館	R8年 1月 27日	諸志公民館	R8年 3月 5日
古宇利公民館	R8年 2月 19日	勢理客公民館	R8年 3月 19日



◆個別避難計画の作成支援

避難行動要支援者名簿登録者のうち、土砂、津波ハザード区域に居住する方を優先に、区長・民生委員・地域支援者と協働して個別避難計画の作成を支援する。順次、ハザード区域以外居住者の個別計画も作成支援を行う。

(R8年3.31現在) ※令和7年度をもって、作成支援終了

- ・R7年度 避難行動要支援者名簿への登載件数：134件
- ・※入院入所者等を除く実際の対象者数：114名

→R3年～R7年の作成支援件数：127件(うち、作成不同意者64件)

9. 赤い羽根共同募金

◎令和7年度 赤い羽根共同募金活動

募金実績：1,906,000円

諸経費：赤い羽根共同募金チラシ印刷代 96,250円

◎運営委員会の開催:委員 6名(令和7年9月15日～令和9年9月14日まで)

期日	場所	出席数	議題・報告
第1回 令和7年 9月2日	今帰仁村社協 (2階会議室)	委員6名 事務局3名	第1号議案 今帰仁村共同募金委員会運営委員の選任について 第2号議案 今帰仁村共同募金委員会会長・副会長の選任について 第3号議案 令和6年度今帰仁村共同募金委員会事業報告について 第4号議案 令和6年度今帰仁村共同募金委員会決算報告について 第5号議案 令和7年度今帰仁村共同募金委員会収支一次補正予算(案)について 報告 第1号 令和6年度赤い羽根及び歳末たすけあい募金実績について 第2号 令和7年度赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金配分事業について
第2回 令和8年 3月24日	今帰仁村社協 (2階会議室)	委員6名 事務局2名	第1号議案 令和8年度今帰仁村共同募金委員会事業計画(案)について 第2号議案 令和8年度今帰仁村共同募金委員会収支予算(案)について 報告 第1号 令和7年度赤い羽根及び歳末たすけあい募金実績について

◎募金贈呈式の様子



10. 介護保険事業

事業名	今帰仁村社協指定通所介護事業(デイサービス)
事業目的	高齢者が可能な限り居宅において、日常生活を営むことができるよう支援しまた、生きがいや社会生活を促進するとともに、家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的とします。
開所日	毎週（月）～（土）
事業費	【収入】 46,117,157円 【支出】 48,867,357円
利用対象	介護認定を受けている方（要支援1, 2・要介護1～5の方）
実施した事業内容	<p>1、身体介助として、排泄、移動移乗、その他必要な身体の介護を行う</p> <p>2、家庭において入浴するのが困難な利用者に対し、必要な入浴サービスを提供。</p> <p>3、食事を希望する利用者に対し、必要な食事サービスを提供。</p> <p>4、日常生活における生活機能の維持、向上を目的として、機能訓練を行う。</p> <p>5、レクリエーションなどアクティビティサービス（余暇活動、塗り絵や作品作り等）やドライブ、行事への参加を行い、生活意欲の向上に繋げる。</p>
利用者状況	<p>利用者数：介護 33 名、支援 1 名、合計 34 名 （令和 8 年 3 月 3 1 日現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・男女比：男性 12 名、女性 21 名 ・新規利用者：12 名 ・平均介護度：1.91 ・平均年齢：88.1 歳 ・終了利用者：19 名（施設入所 9 名、入院 2 名、死亡 3 名、中止 5 名、）
成果・課題	<p>【成果】</p> <p>基本的な感染症対策は行っていたが、10月にインフルエンザの集団感染があり、その対策として手指消毒を次亜塩素酸水からアルコールに変更するなどの措置をとりました。その後3月に職員1名のコロナ感染がありましたが、他の職員、利用者への感染はなかった事から改善の効果は出ていると思います。今後も基本的な感染対策を徹底し利用者が安全にデイサービスでの活動を行えるようにしていきたいと思います。また、今年度は新たにバスドライブを企画、実行し遠足のような雰囲気でも利用者も喜んでいました。</p> <p>【課題】</p> <p>新規利用者に比べて終了利用者が多かった。利用者増に繋げる為、各関係者と連携を取り利用者増の取り組み、稼働率の引き上げを行っていききたいです。</p>
次年度の目標	<p>利用者の安全を第一に、安心して楽しく過ごせる居場所作りに努めます。レクリエーションや個別機能訓練等、サービスの質の向上を目指します。感染症対策に力をいれ、集団感染の防止に努めます。</p>

通所介護 職員研修参加状況

月 日	内 容	場 所	参加
4月11日	介護保険法の基本・改正について	通所介護事業所	11名
5月23日	BCP（業務継続計画）について	通所介護事業所	7名
6月10日	プライバシー保護、個人情報について	通所介護事業所	6名
7月22日	応急手当について	通所介護事業所	6名
9月26日	苦情処理について	通所介護事業所	6名
10月17日	感染症について	通所介護事業所	7名
10月22日	福祉サービスに関する苦情解決セミナー	沖縄県総合福祉センター	1名
1月21日	虐待防止・身体拘束について	通所介護事業所	5名
2月14日	腰痛予防について	児童デイサービス（スイミー）	7名
2月26日	技術研修（入浴介助等）	通所介護事業所	7名
3月14日	社協職員研修	2F 会議室	9名

通所介護 月別行事活動

	期日	活動内容	参加		期日	活動内容	参加
4月	25	バスドライブ	17名	10月	14、15	運動会 ※中止 (感染症流行の為)	0名
	29、30	ヒラヤーチー作り	30名				
5月	13、14、17	ホットドック作り	44名	11月	20	焼き芋パーティー	13名
6月	13	スイミー交流会	14名	12月	8、11	誕生会	25名
	26	誕生会	19名				
7月	7	七夕作品作り	16名	1月	30	バスドライブ	13名
	18、23	ホットケーキ作り	26名				
8月	14	バスドライブ	11名	2月	3	節分豆まき	10名
	18、21、28	スイカ割り	42名		12、13、25	たいやき作り	47名
9月	20	誕生会	16名	3月	13	誕生会	17名

通所介護 利用者状況

	要支援 1	要支援 2	小計	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	小計	合計	のべ 人数
4月	3	0	3	12	12	5	4	2	35	38	418
5月	3	0	3	11	11	4	4	2	32	35	408
6月	3	0	3	13	10	5	4	2	34	37	389
7月	2	0	2	13	9	4	4	2	32	34	400
8月	2	0	2	12	9	5	4	1	31	33	369
9月	2	0	2	12	11	5	4	1	33	35	383
10月	2	0	2	11	11	6	4	1	33	35	376
11月	2	0	2	11	14	7	3	0	35	37	378
12月	2	0	2	11	14	8	3	0	36	38	415
1月	2	0	2	12	14	7	3	0	36	38	370
2月	2	0	2	13	13	5	2	0	33	35	377
3月	1	0	1	12	14	5	2	0	33	34	386
計	26	0	26	143	142	66	41	11	403	429	4669

事業名	訪問介護事業(障がいホームヘルプ事業と兼務)
事業目的	要介護(要支援・事業対象者)状態にある高齢者に対し、適正な訪問介護を提供する事を目的に行う。
開所日	月曜日～日曜日(ただし、天災その他やむを得ず業務ができない日を除く)
事業費	【収入】24,964,103円 【支出】26,153,381円
利用対象	事業対象者・要支援・要介護と認定を受けた方
実施した事業内容	身体介護：入浴介助・排泄介助・清拭・身体整容・体位変換・食事介助 外出介助・更衣介助・移乗移動介助・起床及び就寝介助・服薬介助・自立支援のための見守りの援助等 生活援助：調理・掃除・洗濯・ベッドメイク・買い物等
利用者状況	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度利用者数：要介護26名 要支援・事業対象者22名 合計48名 ・男女別：要介護 男性14名 女性12名 要支援 男性10名 女性12名 ・平均介護度：要介護(1.8) 要支援(1.7) ・平均年齢：要介護…84.7歳 要支援・事業対象者…82.3歳 ・新規利用者：要介護…20名 要支援・事業対象者…12名 ・利用終了者：要介護26名(要支援へ2名、入所・入院21名、中止3名) 要支援：8名(要介護へ3名、死亡1名、入院3名、中止1名) <p style="text-align: right;">*令和8年3月31日現在</p>
成果・課題	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他者交流の苦手な利用者様も、在宅ではリラックスしてヘルパーとのコミュニケーションを楽しむことができている。今後も利用者に寄り添い、在宅サービスの継続をしていきたい。 ・今年のささやかプレゼントは、ヘルパー全員でおでんとサーターアンダギーを調理した。サーターアンダギーの得意な新職員からのアドバイスを受け、和気あいあいとした中で調理し、利用者様からも大好評だった。また、今回初めてささやかプレゼントを受け取った利用者様は、「とてもいい行事。味つけも良かった！」と喜んでいただけた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規利用開始後に入院や入所となる方が多く、安定した利用につながらないケースが多かった。

研修参加状況

	研 修 内 容	研 修 場 所
4月	個人情報とプライバシー保護、倫理について	2階会議室
5月	接遇について	2階会議室
6月	苦情について	2階会議室
7月	口腔ケアについて	2階会議室
8月	応急手当について	2階会議室
9月	災害時の対応について（業務継続計画）	2階会議室
10月	感染症について	2階会議室
11月	虐待防止・身体拘束防止について	2階会議室
1月	調理実習（おでん、サターアングギー作り）	2階会議室
2月	個別研修まとめ	2階会議室
3月	社協職員全体研修	2階会議室
	事業所評価・自己評価	訪問介護事業所
次年度の の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援の中から困りごとの掘り起こしを行い、関係者と連携を図る。 ・現職員の技術の向上と新職員の人材確保。 	

令和7年度 要介護度別利用状況

月	支援1	支援2	事	小計	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	小計	合計
4月	3	14	1	18	9	16	3	2	2	32	50
5月	2	15	1	18	9	15	4	3	1	32	50
6月	2	15	1	18	9	13	5	3	1	31	49
7月	4	13	1	18	9	11	4	3	1	28	46
8月	6	13	1	20	9	10	2	3	0	24	44
9月	5	14	1	20	9	12	1	2	0	24	44
10月	4	16	1	21	8	12	2	3	0	25	46
11月	4	17	1	22	8	13	2	2	0	25	47
12月	4	16	1	21	9	13	3	2	0	27	48
1月	4	18	0	22	11	14	4	3	0	32	54
2月	5	18	0	23	11	13	2	3	0	29	52
3月	6	16	0	22	10	12	3	1	0	26	48
	49	185	9	243	111	154	35	30	5	335	578

事業名	今帰仁村社協指定居宅介護支援事業
事業目的	要介護状態にある高齢者等に対し適正な居宅介護支援を提供します。利用者が要介護状態等にあっても、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるように配慮し、利用者の選択に基づき、適切な保険医療サービス及び福祉サービスが、多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう、公正中立な居宅介護支援を行う。
開所日	月～土
事業費	【収入】 16,209,780円 【支出】 18,629,840円
利用対象	要支援・要介護認定を受けた方
利用者状況	令和7年度利用者数：84名 ※令和8年3月31日現在（要介護1～5） 実績件数：1016件 新規利用者数：27名 終了利用者：26名（死亡9名、入院6名、施設入所8名、支援へ1名、移動2名） 平均年齢：男性 81歳 女性 89歳 平均介護度2
	令和7年度利用者数：9名 ※令和8年3月31日現在（要支援1. 2） 実績件数：116件 新規：2名 終了利用者：4名（入院3名、介護へ1名）
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域に生活する要支援・要介護者に対し、保健、福祉、医療など様々な関係機関と連携し、その人の生活を支えるための相談・連絡調整をする事で、在宅生活の継続、身体の維持向上、社会参加に繋げることができた。 2. 閉じこもりや孤立などの困難事例に対し、地域の住民も含め、本人、家族の意向に沿った調整支援を行い、状態悪化および虐待の予防に繋げることができた。 3. 在宅での看取りも含め、重度者に対する医療サービスの組み込みをはじめとした医療との連携を行い支援できた。 4. 第三者評価により事業の見直しができた。 5. 村包括支援センター主催の地域ケア会議に参加できた。 6. 対面での事例検討会、オンラインを含めた外部の研修会等に参加できた。 7. 災害・感染症の業務継続計画（BCP）策定および訓練の実施が出来た 8. 感染症対策、虐待・身体拘束委員会を実施できた 9. 要介護者の家族で日常的に介護する児童（ヤングケアラー）、障がい者、生活困窮者、難病患者など、高齢者以外に支援が必要な研修、事例検討会を実施できた。 10. 介護支援専門員実習の希望者あり、受け入れができた
課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 新規の受入れも対応できたが、利用者の目標人数は達成できていない。 2. 介護保険の理念である「自立支援」の考え方が十分共有されず、利用者や家族の要望のみに基づいたケアマネジメントのケースがあった。 3. インフォーマルな支援のコーディネートが、まだ十分できていない。 4. ケアマネ人員増、次世代ケアマネージャーの育成の取り組みが必要。 5. 感染症、災害時に職員・利用者の安否確認、支援調整などの検討が不十分。 6. 職員それぞれの必要なスキルの向上、自己研鑽につながる外部も含めた研修計画が必要である。

次年度 の目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 介護保険における「自立支援」の考え方のもと、自立支援を前提としたケアマネジメントを行う。 2. 自立支援に資するケアマネジメントの実現、社会資源の開発を進めるため、多職種協働のケア会議（地域支援会議等）の機能強化を図る。 3. 地域、関係機関等と検討を通じて地域包括ケアシステムの機能を強化する。 4. 引き続き利用者増へ取り組む。病院などへ紹介依頼。各字、地域での利用者確保。 5. 入院、退院後、在宅での看取り時に医療との連携を強化し、適切な医療サービスの組み込みを促進する。 6. 全体での研修及び、個別の研修計画・目標を立て、スキル向上、自己研鑽につなげる。 7. 虐待防止の推進、感染症対策の委員会の開催および、業務継続計画・BCP（災害、感染）訓練を実施し、情報を共有し、課題への取り組みを行う。 8. ケアマネ試験の勉強会など、育成へ取り組み、新規利用者など受け入れ可能な体制を整える。
------------	--

令和7年度 要介護度別利用状況

月	支援1	支援2	小計	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	小計	合計
4月	1	10	11	26	26	18	13	1	84	95
5月	1	10	11	27	27	18	13	1	86	97
6月	1	10	11	29	25	19	11	2	86	97
7月	1	10	11	29	23	17	12	2	83	94
8月	1	7	8	28	24	20	11	1	84	92
9月	1	7	8	29	27	16	12	1	85	93
10月	1	8	9	28	26	16	11	1	82	91
11月	1	8	9	27	29	17	11	1	85	94
12月	1	9	10	28	29	18	11	1	87	97
1月	1	9	10	28	30	16	11	1	86	96
2月	0	9	9	28	30	14	10	2	84	93
3月	0	9	9	27	31	14	9	3	84	93
	10	106	116	334	327	203	135	17	1016	1132

1. 村内ケアマネ連絡会開催（3ヶ月に1回）

回	参加日	場 所	参加者	全参加者
第1回	R7年 5月30日	介護老人保健施設 和光園	4人	25人
第2回	R7年 8月29日	今帰仁村社会福祉協議会	2人	27人
第3回	R7年11月21日	〃	3人	16人
第4回	R8年 3月13日	〃	3人	15人

2. グループホームほしくぼ運営推進会議

回	参加日	場 所	参加者
第 回	R 年 月 日	ほしくぼ、わくがわ	欠席

3. 地域密着型デイサービス・ハイビスカス運営推進会議

回	参加日	場 所	参加者
第1回	R8年3月17日	デｲﾌﾞｰﾋﾞｽｶｽ	1人

4. 日常的に介護する家族への、介護保険以外に支援が必要な事例検討会

参加日	内 容	場 所	参加者
R7年7月16日	ヤングケアラーの理解を深める研修会 ケアマネができるヤングケアラーへの支援	今帰仁社協	4人

5. 各研修会へ参加

参加日	研修会名称	場 所	参加者
R7年4/1～4/30	支援計画の留意点（プラン点検）	今帰仁社協	4人
R7年4月25日	小規模法人ネットワーク ちゅいしーじー連絡会	今帰仁社協	2人
R7年5月23日	倫理・臨床倫理・ちょっとだけナティブ	名護博物館	3人
R7年6月19日	応急手当について	今帰仁社協	4人
R7年6月24日	熱中症対策について	今帰仁社協	2人
R7年7月10日	北部豪雨災害における各社協の住民支援対応	県総合福祉センター	2人
R7年7月16日	ヤングケアラーの理解を深める研修会	オンライン	4人
R7年7/25～9/3	介護支援専門員専門研修Ⅱ	オンライン	1
R7年9月11日	書くべきことをもらさない！居宅介護支援経過	オンライン	2人
R7年9月8日	業務継続計画（BCP）について	今帰仁社協	4人
R7年9月18日	住民が主役の支援づくりを目指して	今帰仁社協	1人
R7年11月11日	多職種連携 研修	県総合福祉センター	2人
R7年11月21日	事例検討会（村ケアマネ連絡会）	今帰仁社協	2人
R7年12月5日	地域ケア会議	村役場	2人
R7年12月8日	感染症予防について	今帰仁社協	4人
R8年1月26日	認知症について	今帰仁社協	4人
R8年2月16日	ケアマネの処遇改善	オンライン	2人
R8年3月18日	今帰仁社協全体研修 「最新の科学から老化を防ごう」	今帰仁社協	4人

11. 障がい福祉サービス事業

事業名	今帰仁村児童デイサービス スイミー
事業目的	児童及び児童の保護者の意志及び人権を尊重し、利用児の立場に立った適切な指定サービスの提供を確保することを目的とする。
開所日	月曜日～金曜日
事業費	【収入】 17,010,839円 【支出】 17,578,786円
利用対象	今帰仁村、本部町、名護市より通所給付決定を受けた児童
実施した事業内容	<p>【放課後等デイサービス事業】 対象：就学児（7歳～18歳）</p> <p>利用児が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることが出来るよう、適切かつ効果的な指導訓練を行う。</p> <p>*利用児13名（男児：9名、女児：4名）※令和8年3月31日現在</p>
利用者状況	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児登録数：13名 ※令和8年3月31日現在 （男女比率：男9名、女4名） （今帰仁村：12名）（本部町1名） ・新規利用児数：0名 ・終了児童数：1名（高校修了）
成果・課題	<p>令和7年度(令和8年3月31日現在)は、児童デイサービス・スイミーへ13名の利用児が元気いっぱい通ってくれました。</p> <p>今年度もハロウィンパーティー、クリスマス、節分、ひな祭りと事業所内での行事を例年通り盛り上げて実施することができ、夏の遠足ではボウリングへ出かける事も出来ました。</p> <p>日々の活動や行事を通し、子ども達の生き生きとした表情や成長を見守る中で、子ども達から学ぶ事の方がたくさんあり、私たちスタッフも日々成長させられる一年となりました。また、今年はスイミーの場所が引っ越しになり、環境が大きく変わった中ではありましたが、子どもたちが笑顔で通所し、笑顔で帰宅していくことが本当にありがたかったです。</p> <p>次年度も職員一同子どもたちと共にスイミーのモットーである「楽しい！うれしい！できた～！」を共感し、笑顔あふれる場所であるよう努めていきたい。</p>
次年度の目標	<p>保護者との交流や地域との交流ができる場を多く作っていききたい。</p> <p>また安心・安全に利用してもらえるよう職員同士の信頼関係、利用児・保護者との信頼関係を構築し日々楽しいがあふれる事業所にしたい。</p>

利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
放課後等デイ事業	13	13	13	13	11	13	13	13	13	13	13	13	154
延人数	169	163	161	179	156	176	166	153	158	150	150	174	1955

研修参加状況

内部研修			
4月	ガイドラインの確認	11月	虐待防止について
5月	安全計画について	12月	SSTについて
6月	応急手当並びに救急法について	1月	感染症について
7月	B C Pについて	2月	個人情報保護とプライバシー保護
9月	発達障害について	3月	社協職員研修

集団指導や主な活動・行事	
4月	鯉のぼり制作・誕生日会（4月・5月）
5月	オリエンテーション、母の日制作 村内他事業所・保護者交流会
6月	おとぼの杜と交流、デイサービスと交流
7月	七夕パーティー、誕生日会（6月・7月・8月）
8月	水遊び・夏の遠足（ボウリング）、福木染め体験、地域散策
9月	敬老の日制作、ハロウィン制作、わらべうた
10月	地域散策、ハロウィンパーティー、誕生日会（10月・11月）
11月	焼きいもパーティー、勤労感謝制作
12月	クリスマス制作、クリスマスパーティー
1月	書き初め・節分制作・誕生日会（12月・1月）
2月	節分、地域散策、ひなまつり制作・大感謝会制作
3月	ひなまつりパーティー、修了式及び大感謝会、わらべうた

事業名	障がい者ホームヘルプ事業(p.28 訪問介護事業所と兼務)
事業目的	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な居宅介護及び、重度訪問介護の提供を図る事を目的に行う。
サービス提供日	月曜日～日曜日(ただし、天災その他やむを得ず業務ができない日を除く)
事業費	【収入】 6,917,371円 【支出】 7,243,234円
利用対象	障害支援区分を受けた障害者(区分1～6)
実施した事業内容	<p>*居宅介護(障害者の方への訪問介護) 【家事援助】 調理、洗濯、掃除等の生活の援助を行います。 その他、関係機関への連絡等、必要な家事を行います。 【身体介護】 入浴や排泄、食事等の介助をします。</p> <p>*重度訪問介護(重度の身体不自由者で常時介護を必要とする方が対象) 【身体介護】 入浴や排泄、食事、衣服の着脱といった介助、その他必要な身体介護を行います。</p> <p>*さわやか地域生活さぼーと(社協自己財源事業) 単身世帯、高齢世帯及びこれに準ずる世帯並びに障がい児者の世帯で、既存のサービスの狭間にある家事援助を行います。</p> <p>*移動支援 身体・知的・精神に障害をお持ちの方(発達障害を含む)、難病をお持ちの方、その他の心身の機能に障害がある方の外出支援を行います。</p>
利用者状況	令和7年度利用者数：7名 *令和8年3月31日現在 新規利用者：2名 利用終了者：0名 男女別人数：男性1名、女性6名 平均年齢：53歳 平均障害支援区分：5
成果・課題	【成果】 <ul style="list-style-type: none"> 他者交流の苦手な利用者様も、在宅ではリラックスしてヘルパーとのコミュニケーションを楽しむことができている。今後も利用者に寄り添い、在宅サービスの継続をしていきたい。 今年のささやかプレゼントは、ヘルパー全員でおでんとサーターアンダギーを調理した。サーターアンダギーの得意な新職員からのアドバイスを受け、和気あいあいとした中で調理し、利用者様からも大好評だった。また、今回初めてささやかプレゼントを受け取った利用者様は、「とてもいい行事。味つけも良かった！」と喜んでいただけた。 【課題】 <ul style="list-style-type: none"> 新規利用者増であったが、男性の利用者増がなかった。今後、男性職員対応の希望が増える際には、男性職員の採用も検討していく。

研修参加状況

	研 修 内 容	研 修 場 所
4月	個人情報とプライバシー保護、倫理について	2階会議室
5月	接遇について	2階会議室
6月	苦情について	2階会議室
7月	口腔ケアについて	2階会議室
8月	応急手当について	2階会議室
9月	災害時の対応について（業務継続計画）	2階会議室
10月	感染症について	2階会議室
11月	虐待防止・身体拘束防止について	2階会議室
1月	調理実習（おでん、サターアングギー作り）	2階会議室
2月	個別研修まとめ	2階会議室
3月	社協職員全体研修	2階会議室
	事業所評価・自己評価	訪問介護事業所
次年度の の 目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の支援の中から困りごとの掘り起こしを行い、関係者と連携を図る。 ・現職員の技術の向上と新職員の人材確保。 	

居宅介護 月別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	81
延回数	142	154	144	177	159	170	190	181	183	176	183	191	2050
延時間	87.5	96.5	83	101	91.5	91.5	112	109.5	107	99	112.5	121.5	1212.5

移動支援 月別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	7
延回数	1	1	0	0	1	0	1	0	1	1	0	1	7
延時間	1	1.5	0	0	1	0	1	0	1	2.5	0	2	10

さわやかサポート 月別利用件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
人数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
延時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

事業名	今帰仁村社協指定計画相談支援・障害児相談支援事業所（アイリス）
事業目的	計画相談支援及び指定障害児相談支援は、利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場に立ちながら、利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるように配慮するとともに、利用者又は障害児の保護者の選択に基づき、適切な保健、医療、福祉、就労支援、教育等のサービスが多様な事業者から、総合的かつ効率的に提供されるよう配慮して行います。
開所日	月～金
事業費	【収入】 3,779,460円 【支出】 4,763,774円
利用対象	障害認定を受けている方
利用者状況	令和7年度利用者数 登録件数：101名 ※令和8年3月31日現在 新規利用者数：22名、終了利用者：6名（更新なし2名 転居3名、移動1名） 男女別：男性50名、女性51名
成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者の自立に向けて、保健、福祉、医療、就労など様々な関係機関と調整し、その人の希望するサービス事業所の利用や地域社会参加につなぐ支援ができた。 2. 変化が大きい児童、生徒の通う保育所（未就学児）小中学校、高校へ出向き、教育委員会とも連携を密にし、予想される課題に対応できる様に支援ができた。 3. 障がい児の相談支援員においては村内に社協のみで、北部地域に相談支援員が少ない中、新規を含め、適正な社会資源の提供ができた。 4. 医療的なケアが必要な利用児、者の保護者からの相談を受け、情報提供、関係機関との連絡調整を行い体調維持につなぐことができた。 5. 虐待防止、身体拘束の禁止、感染症予防の委員会へ参加、研修を実施することが出来た 6. 相談支援部会、こども部会、従事者研修などでの情報交換、勉強会が実施継続できた。
課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. グループホームが人員不足で、縮小または閉鎖し必要な支援調整が困難になっている。 2. キーパーソンとなる家族と連絡が取りづらいなど、支援の変更、サービス会議調整などに時間を要した。 3. 毎月の支援費が不安定（モニタ、計画作成実績のみ請求）で低く、相談支援員の人員配置が困難。 4. 引き続き、村内・北部地域において相談支援員の増と育成が必要である。相談支援事業所が足りないことで、利用者のニーズに応えられない場合も考えられる。

次年度の 目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 利用者や家族の要望を受け止め、更に自立支援と、充実した生活の実現を前提とした相談支援を行う。 2. 障害者（児）の課題解決や自立支援に向けて、関係する機関でのケアカンファレンス（担当者会議やモニタリング会議）で連携し、より良い支援の構築をめざす。 3. 県主催の研修会や北部圏域の相談支援部会が行う研修会等に参加し相談支援員としての資質向上を図る。 4. 引き続き、相談支援事業所の増および、経営の維持を行政へ訴えると共に、村内の障害福祉サービス事業所へ相談支援員増の協力を働きかける。 5. 法人内職員が相談支援員の研修を受講し、資格者の増員に取り組む。
--------------------	---

令和7年度 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	93	93	93	94	94	95	93	96	97	97	99	101	1145
実績人数(者)	6	8	6	10	6	14	9	9	6	14	6	16	110
実績人数(児)	12	10	12	12	4	11	9	6	6	6	16	20	124
新規	6	2	0	1	0	1	1	1	2	3	3	2	22
中止	0	2	0	0	0	0	3	0	0	0	1	0	6

参加研修

参加日	研修会名称	場所	参加
R7年4/15、6/17、8/19、10/21、12/11、R8年2/18	第1回～6回 相談支援部会	今帰仁役場	2人
R7年6月 4日	北部地区相談支援員研修会	北部福祉事務所	1人
R7年6月17日	応急手当について	今帰仁社協	2人
R7年8/27、11/10	北部圏域障害者相談支援従事者等研修	北部合同庁舎	2人
R7年4/23、9/17 R8年2/25	第1回～3回今帰仁村地域自立支援協議会子ども部会	今帰仁役場	1人
R7年11月25日	虐待、身体拘束について	今帰仁社協	2人
R8年 1月26日	感染症について	今帰仁社協	1人
R8年 3月18日	今帰仁社協全体研修 「最新の科学から老化を防ごう」	今帰仁社協	2人

就労支援事業所「ソーシャルサポートおとばの杜」

(就労継続支援B型事業・生活介護事業)

「働きたい、仲間作りをしたい」という願いを通して、利用者とその家族が住み慣れた地域で安心して生活をし、豊かな人生を歩むことができるように地域の中で活動し生活することを目的として、利用者一人ひとりの状況を踏まえながら支援することを方針とします。一人ひとりの自主性、主体性を尊重し、集団生活や作業活動への参加を通して‘楽しく笑顔で’をモットーに、誰もが働くことのできる共生社会を目指しながら日々の活動に取り組んでいます。

～ 対象者:知的障がい者、身体障がい者、精神障がい者、難病者等 ～

事業名	就労継続支援B型事業(定員33名)
事業費	【収入】58,462,192円 【支出】58,325,310円
事業概要	一般企業等での就労が困難な方に、就労する機会を提供するとともに、能力等の向上のために必要な訓練を行う。
事業目的	就労継続支援B型事業の適正な運営を確保するために、必要な人員及び運営管理に関する事項を定め、指定就労継続支援B型の円滑な運営管理を図るとともに、利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った適切な指定就労継続支援B型の提供を確保することを目的とする。
運営方針	<ul style="list-style-type: none"> ◆利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、就労の機会を提供するとともに、生産活動その他の活動の機会を通じて、その知識及び能力向上のために必要な訓練その他の便宜を適切かつ効果的に行う。 ◆利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った良質なサービス提供に努める。 ◆地域との結び付きを重視し、村や他の障がい福祉サービス事業者等との密接な連携に努める。
営業日時	<ul style="list-style-type: none"> ◆月曜日～金曜日（12月29日～1月3日を除く） ◆午前8時30分～午後5時30分
サービス提供日時	<ul style="list-style-type: none"> ◆月曜日～金曜日（12月29日～1月3日を除く） ◆午前9時～午後4時
対象者	<ul style="list-style-type: none"> ◆就労経験がある者であって、年齢や体力の面で一般企業に雇用されることが困難となった者。 ◆就労移行支援事業を利用した結果、本事業の利用が適切と判断された者など。

事業内容	<p>◆利用者の要望や適性に応じた資質向上に向けた取り組み</p> <p>◆個別支援計画の作成 (支援計画書、フェイスシート表、モニタリング表等)</p> <p>◆食事の提供・送迎サービス</p> <p>◆利用者からの相談・苦情処理に関する業務</p>
	<p>◆生産活動</p> <p><u>①パン製造・販売(月・水・金) ※祝祭日にあたる日は休み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品を開発するなどし、村内外(本部町、名護市)へ出向き販売活動を行う。 (製造、袋のラベル貼り、袋づめ、販売) <p><u>②厨房業務(月～金)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協利用者や職員の昼食、一般販売用弁当(注文)の調理等に係る作業を行う。 (洗い物、野菜切り、皮むき、清掃、弁当販売) <p><u>③干支の置物販売(年末・年始)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・木工作业として、干支の置物を製作・販売した。
	<p>◆地域(村内外)からの請負作業</p> <p><u>①スーパー清掃・片付け(月・水・金)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・トイレの清掃及び段ボールの片づけ作業を行う。 <p><u>②村内事業所の清掃(火・金)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・フロア及び、トイレの清掃を行う。 <p><u>③草刈り作業(随時)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者や障がい者をはじめとする、地域住民の負担軽減等を目的に草刈り作業を実施。 <p><u>⑤ シークワサー収穫(随時)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村内のシークワサー農家の収穫作業を行う。 <p><u>⑤ヨモギの選別(随時)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・名護市のヨモギ加工業者のヨモギ葉と茎のより分け作業を行う。 <p><u>⑥選挙看板の設置</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・衆議院選挙の看板設置を行う。 <p><u>⑦指定ごみ袋、粗大ごみ処理券の販売</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・村役場より一般廃棄物手数料徴収事務の委託を受け、村内の小売店へ指定ごみ袋及び粗大ごみ処理券の販売を行う。
	<p>◆リサイクル活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の皆様より、古着や雑貨、アルミ缶、食器、古紙、段ボール等を提供いただき、利用できる品物は社協のバザーや、リサイクル業者への販売を行った。古着はウエスにし、修理工場へ販売した。 ・中学、高校の制服リユースにも取り組み、子育て世帯の負担軽減に寄与することができた。
	<p>◆農園作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敷地内の畑で、野菜(小松菜、ニガナ)を育て職員への販売を行う。

利用者の 状況	・利用登録者数： 23名／男性(8名)・女性(15名) ※3月31日現在 ・新規利用者数： 1名 ・途中退所者数： 3名												
	月別の利用実績(のべ人数)												
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
454	430	434	456	433	428	462	411	433	425	390	412	5168	
効果・課題	生産活動や請負作業について、利用者の能力や体調に応じて担当を調整し、無理なく取り組めるよう配慮した。作業を通じて、基本的な作業姿勢、連絡、相談、時間管理などの就労に必要な基礎スキルを意識することができた。一方で体調や気分の変動により、出席に波がある利用者もあり、安定した通所につなげるための支援のあり方が課題と感じた。												
次年度の 目標	引き続き、利用者の生活リズムの安定と作業スキルの向上、安心して通える環境づくりに取り組みながら、新規利用者の確保に努めていきたい。												

事業名	生活介護事業(定員7名)												
事業費	【収入】 16,329,067円 【支出】 14,452,281円												
事業概要	日常生活において介助が必要な方に、入浴、排せつ、食事の介護等を行うとともに、創作活動または、生産活動の機会を提供する。												
事業目的	利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った適切な指定生活介護の提供を確保することを目的とする。												
運営方針	◆利用者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、入浴、排せつ及び食事の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他の便宜を適切かつ効果的に行う。 ◆利用者の意思及び人格を尊重して、常に当該利用者の立場に立った良質なサービス提供に努める。 ◆地域との結び付きを重視し、村や他の障がい福祉サービス事業者等との密接な連携に努める。												
営業日時	◆月曜日～金曜日（12月29日～1月3日を除く） ◆午前8時30分～午後5時30分												
サービス提供日時	◆月曜日～金曜日（12月29日～1月3日を除く） ◆午前9時～午後4時												
対象者	◆入浴、排せつ及び食事等の介護、創作的活動又は生産活動の機会の提供その他必要な援助を要する者。												
事業内容	◆個別支援計画の作成（支援計画書、フェイスシート表、モニタリング表等） ◆食事の提供・送迎サービス ◆利用者からの相談・苦情処理に関する業務 ◆生活支援・指導 （食事、排泄、移動、健康管理（体温血圧測定）、医師による診療等） ◆創作・生産活動（パンのラベル貼り、新聞のより分け作業等） ◆機能訓練（朝の体操、手指、歩行機能訓練）												

事業内容	◆生産活動 ①パン製造・販売に係る活動 ・パン袋のラベル貼りを行う。 ②干支の置物販売(年末・年始) ・木工作業として、干支の置物を製作。(ペーパーがけ)																																							
	◆地域(村内外)からの請負作業 ①ヨモギの選別(随時) ・名護市のヨモギ加工業者より請負った葉と茎のより分け作業を行う。																																							
	◆リサイクル活動 ①新聞のより分け作業 ・新聞とチラシのより分けを行い、新聞紙の束を農家さんへ販売した。 ・新聞紙を活用し、施設内で使用するゴミ箱を作成。																																							
利用者の状況	・利用登録者数： 6名／男性(2名)・女性(4名) ※3月31日現在 ・新規利用者数： 2名 ・途中退所者数： 0名																																							
	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th colspan="13">月別の利用実績(のべ人数)</th> </tr> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>累計</th> </tr> <tr> <td>82</td><td>90</td><td>98</td><td>113</td><td>107</td><td>116</td><td>106</td><td>89</td><td>96</td><td>92</td><td>87</td><td>102</td><td>1178</td> </tr> </table>	月別の利用実績(のべ人数)													4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	82	90	98	113	107	116	106	89	96	92	87	102	1178
月別の利用実績(のべ人数)																																								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計																												
82	90	98	113	107	116	106	89	96	92	87	102	1178																												
効果・課題	食事・排泄等の日常生活上の介護に加え、B型事業利用者と共にパンや干支置物等の生産活動などの機能訓練的な活動を実施した。また、利用者の役割づくりを重視し、事業所内のごみ箱づくりや、軽作業への参加機会を設け、一人ひとりの自主性、主体性を尊重し、誰もが働くことのできる環境づくりに努めた。																																							
次年度の目標	個別支援計画に基づき、ご家族や相談支援事業所・医療機関等との連携をさらに深め、利用者一人ひとりが安心して通所できる環境整備に努めたい。																																							

事業名	日中一時支援事業(村役場からの受託事業)																																							
受託費	715,932円																																							
事業目的	障がい者の日中における活動の場を確保し、障がい者等の家族の就労支援及び日常介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的とする。																																							
サービス提供日時	◆月曜日～金曜日 午後4時～午後6時 ◆第二土曜日 午前9時～午後6時 ※12月29日～1月3日を除く																																							
対象者	身体障がい者、知的障がい者、精神障がい者であって、市町村で支給決定された方。																																							
利用者数	<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <th colspan="13">月別の利用実績(のべ人数)</th> </tr> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th><th>累計</th> </tr> <tr> <td>40</td><td>38</td><td>40</td><td>42</td><td>42</td><td>32</td><td>30</td><td>27</td><td>31</td><td>27</td><td>25</td><td>28</td><td>402</td> </tr> </table>	月別の利用実績(のべ人数)													4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	40	38	40	42	42	32	30	27	31	27	25	28	402
月別の利用実績(のべ人数)																																								
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計																												
40	38	40	42	42	32	30	27	31	27	25	28	402																												

月別行事／レク活動や自治会活動

行 事		レク活動や自治会活動
4月	オクラレルカ見学	おとぼでカラオケ
5月		だんらん参加
6月	保護者会並びに利用者・家族・職員等交流会 ボウリング大会	だんらん参加 誕生会
7月	ミニドライブ（大宜味・名護イオン）	おとぼでカラオケ
8月	消防避難訓練	誕生会
9月	社協ふれあいまつり、津波避難訓練	おとぼでカラオケ
10月	沖縄県ゆうあいスポーツ大会	フライングディスク練習、誕生会
11月		おとぼでカラオケ
12月	おとぼの杜忘年会（ランチビュッフェ）	クリスマス会&忘年会
1月	新春もちつき大会、桜花見、初詣	おとぼでカラオケ
2月	北部地区親の会スポレク大会（宜野座村） 成人・生年祝い、津波避難訓練	誕生会
3月	ツツジ見学	おとぼでカラオケ

※自治会活動(利用者の自主的な活動)ゆらりの日＝第3木曜日

利用者の自主活動として企画・運営・実施し、おとぼの杜内外での集団活動を通して、利用者同士の連帯と社会性を高め、地域の中で豊かに生活できる事を目指した活動を行う。

職員研修(毎月第4火曜日)

	研 修 内 容	講師・説明
4月		
5月	事業計画、予算内容について	安田、花城
6月	職場における熱中症対策について	上野
7月	化学物質の特性を知り安全に取り扱うために	上野
8月	障がい者虐待防止について	上野
9月	業務継続計画について	上野
11月	業務継続計画（感染症発生時）について	上野
1月	業務継続計画（自然災害発生時）について	上野
3月	今帰仁村社協職員全体研修	名桜大 高瀬幸一教授

※実習等の受け入れ

- ◇実習生受け入れ（沖縄女子短期大学より1名）
- ◇職場体験受け入れ（名護特別支援学校より1名）

※その他取り組み等

- ◇利用者の生活や困りごとの相談（随時）
- ◇パンミーティング（毎月1回）
- ◇職員ミーティング（毎月第1火曜日）
- ◇利用者工賃支給日（毎月10日）
- ◇実習生受け入れ

12. 団体事務

令和7年度 今帰仁村民生委員児童委員協議会事業報告

月 日	活 動 内 容	備 考
4月 3日 22日	村民児協定例会 村民児協役員会	村社協 村社協
5月 2日 7日 12日 27日 27日 28日	村民児協定例会 北部地区民児協総会 民生委員児童委員の日活動強化週間広報(~18日) ☆ 村民児協役員会 村民児協会計監査 子育て会議(代表者会議)参加	村社協 名護市 村内 村社協 村社協 村内
6月 3日 11日 18日 24日 27日	村民児協定例会・総会・研修会(アルコール依存症) 県民児協総会・会長研修 天底小学校との顔合わせ会・情報交換 村民児協役員会 村老人クラブ大会参加	村社協 那覇市 天底小学校 村社協 コミセン
7月 1日 6日 7日 7日 11日 22日	村民児協定例会 母と子の楽しい運動会参加 北部地区主任児童委員研修会 南風原民児協との交流研修 県民児協広報研修会 民児協役員会 チャービラサイ運動物品配布	村社協 うるま市 名護市 村社協 那覇市 村社協 各担当区
8月 5日 8日 14日 23日	村民児協定例会 結ネットワーク連絡会 村老人クラブ芸能発表会 村まつり参加	村社協 村社協 コミセン 祭り会場
9月 2日 21日 30日	村民児協定例会 今帰仁村しゃきょうふれあいまつり参加 村民児協役員会 赤い羽根共同募金協力事業所確認 友愛訪問対象者調査	村社協 村社協 村社協 各担当区 〃
10月 7日 10日 19日 26日 28日 29日	村民児協定例会 村平和祈願祭参加 さわやかスポーツ大会 小学校運動会参加 村民児協役員会 沖縄県社会福祉大会 赤い羽根共同募金活動への協力 友愛訪問 字豊年祭参加	村社協 村内 村営グラウンド 各学校 村社協 宜野湾市 各担当区 各担当区 村内

11月	4日	村民児協定例会	社協
	〃	歳末たすけあい対象者調査への協力 ☆	各担当区
	〃	赤い羽根共同募金活動への協力	各担当区
	18日	北部地区民児協親善パークゴルフ大会	国頭村
	19日	村民児協視察研修会（名護消防・防災研修）他	名護市他
	25日	村民児協役員会	村社協
	27日	村身障協福祉展見学の介助ボランティア	南風原町
	28日	村民児協臨時総会	村社協
12月	1日	委嘱状交付式	名護市
	2日	村民児協定例会	村社協
	18日	県民児協臨時総会	那覇市
	23日	今帰仁村各種団体スポーツ大会幹事会	村役場
	23日	村民児協役員会	社協
	24日	民生委員・児童委員感謝状伝達式、新任委員紹介 歳末助け合い配布	コミセン 各担当区
1月	6日	村民児協定例会	社協
	9日	今帰仁村新年村民の集い	コミセン
	17日	社協もちつき大会参加	社協
	23日	民生委員・児童委員研修（初任）	名護市
	27日	村民児協役員会	社協
2月	2日	中堅民生委員児童委員研修	那覇市
	3日	村民児協定例会	社協
	19日	沖縄県民生委員児童委員大会	宜野湾市
	26日	村民児協役員会	村社協
	27日	ゲートキーパー講座	役場
3月	2日	県民児協総会・会長研修会	那覇市
	3日	村民児協定例会	社協
	13日	北部地域こども支援フォーラム	名護市
	18日	村議会傍聴	役場
	24日	村民児協役員会	社協

【継続的な活動】

- 1, 地域での相談・支援・訪問活動（随時）
- 2, 今帰仁村民児協定例会：毎月第1（火）
- 3, 各字見守り隊への協力
- 4, 社協みんなでつくる居場所「だんらん」への協力
- 5, ミニデイサービスへの協力
- 6, 今帰仁村民児協役員会：毎月第4（火）
- 7, 活動記録の整理・点検：毎月
- 8, なんでも相談（毎月1回各公民館）☆

令和7年度 今帰仁村老人クラブ連合会月別事業報告

月日	事業内容	月日	事業内容
4月 2日	理事会・女性部合同会議 (30名)	10月 1日	理事会 (19名)
		3日	村老連レクリエーション講習会 (60名)
		9日	第51回北部地区芸能大会 (兼次校区19名)
		19日	さわやかスポーツ大会 (500名)
		20～21日	北部地区市町村老連幹部宿泊研修会 (2名)
		24日	沖縄県老人クラブ大会 (浦添市でたこホール:11名)
		30日	北部地区グラウンドゴルフ大会 (10名)
5月 7日	理事会 (20名)	11月 5日	理事会 (20名)
〃	老人クラブ大会表彰委員会	7日	今帰仁村老連パークゴルフ大会 (100名)
14日	北部市町村老連担当者会議	27～28日	九州ブロック老人リーダー研修会 (1名)
15日	村老連 監査		
20日	北部老連レクリエーション講習会 (4名)		
23日	沖縄県市町村老連事務担当者研修会		
6月 4日	理事会 (20名)	12月 3日	理事会・女性部合同会議 (忘年会) (29名)
6日	村老人婦人スポーツ大会役員会 (6名)	4日	北部老連パークゴルフ大会 (宜野座村) (8名)
10日	北部老連理事会	17日～18日	沖縄県女性リーダー宿泊研修会 (2名)
13日	北部老連女性委員会		
27日	第51回今帰仁村老人クラブ大会 (210名)		
30日	今帰仁まつり実行委員会		
7月 2日	理事会 (20名)	1月 7日	理事会 (19名)
18日	北部地区老人クラブ大会	22日	県老人パークゴルフ大会 (糸満市) (4名)
23日	今帰仁村老連ボウリング大会 (59名)	29日	沖縄県老人芸能大会 (名護市) (20名)
8月 6日	理事会・女性部合同会議 (30名)	2月 4日	理事会・事業推進委員会 (20名)
14日	今帰仁村老人芸能大会 (250名)	6日	村老連女性部会 (13名)
15日	北部地区女性委員会	13日	本部町老連との交流会 (本部町) (23名)
23日	今帰仁村まつり		理事・女性部合同社会見学 (名護市消防)
27～28日	県高齢者相互リーダー研修会 (4名)	25日	市町村老連担当者会議 (名護市)
9月 2日	北部地区ボウリング大会	3月 4日	理事会 (20名)
9日～10日	沖縄県老人クラブ幹部宿泊研修会 (1名)	12日	村老連春のグラウンドゴルフ大会 (雨の為中止)
11日	理事会 (19名)		
16日	健康づくり事業 (20名)		
19日	今帰仁村老連一斉奉仕作業 (60名)		